

INTERVIEW

## 本格的なユビキタス社会の到来に向けたオープンイノベーションを積極支援

インターネット出現以来の大変革をもたらすと言われる次世代ネットワーク(NGN)。NGN時代の到来は、私たちの生活やビジネス、さらには社会全体にどのようなインパクトを及ぼすのか、NGN構築を支援するNECの広崎膨太郎代表取締役・執行役員副社長にお話をうかがった。

### NTTグループが開いた歴史的な新しい1頁

■■■■いよいよNGNの商用サービスが開始されました。改めて、NGN構築に多大な貢献をされているお立場からみたNGNの全体像についてお聞かせください。

**広崎** 世界初の本格的なNGNの商用サービスのスタートで、歴史的な新しい1頁が開かれたといえます。ブロードバンド・モバイルという非常に豊かな情報通信環境のもとで、私たちのビジネスや生活も大きく変わってきました。eビジネス拡大はもちろん、ブログやSNS、Web2.0などコミュニケーションの多様化、おサイフケータイに代表される新しい融合サービスの登場など、企業、社会、個人の活動基盤として、ネットワークは欠かせない存在となってきています。しかし一方で、情報漏洩や、音声や動画などの通信品質が悪い、安定しない、飛躍的に増大するネットワーク・トラフィックへの対応など、様々な課題も見えてきました。こうした課題を解決するとともに、既存ネットワークの長所を活かし、ひとつのIPネットワークで統合したネットワークインフラがNGNです。

NGN実現の技術的な背景は、ITとネットワークのパラダイム変化の同期にあり、CPU性能、デジタル化と符号化技術、光伝送技術の3つの技術イノベーションがあげられます。特に、ネットワーク速度は“ギルダールの法則”に示されているように波長多重技術の登場でムーアの法則を越える、半年で2倍の性能向上を実現しています。また、NGNアーキテクチャの最大の特徴は、2階層モデルにあり、サービスプラットフォーム・レイヤを支えるコンピュータ技術とトランスポート・レイヤ(ネットワークインフラ)を支える通信技術が、相互に進化の自由度を保証するという画期的なものです。これに



日本電気(株)  
代表取締役 執行役員副社長  
広崎 膨太郎氏

より、広帯域で安心なコミュニケーションと自由な情報空間の創出を可能にしています。

### NGNにより本格的ユビキタス社会=ユビキタスC&C時代が到来

■■■■NGNで、個人、企業、社会はどのように変化するでしょうか。

**広崎** NGNがもたらすパラダイムシフトは、個人、企業、社会に対して新

たな可能性をもたらし、日本の国際競争力の向上にも寄与できると思います。そのためには、NGNの本質的なポテンシャルを実現するためにみんなが知恵を出しあうことが重要です。私は、現在見えていない、例

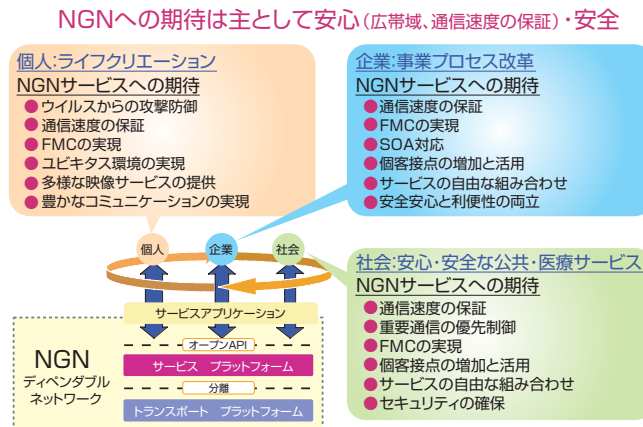


図1 NGNへの期待、モチベーション

えばより生活者の視点に立ったアプリケーションが今後重要になると思っています。現在のNGNへの期待、モチベーションを示すと図1のようになります。個人にとっては、新しい生活スタイルを創出するライフクリエーション、企業にとっては経営スタイルを含めた業務プロセスの改革、それから社会に対しては、安心・安全な公共・医療サービスがあげられます。

NECは約30年前の1977年に、世界に先駆けて“C&C (Computers and Communications)”を提唱し脈々と技術・システムを開発してきました。NGNという新たな歴史の1頁が開かれたことで、ようやく“C&C”が生活の隅々にまで入る時代、特別に意識することなく空気のように“C&C”を扱える“ユビキタスC&C”の時代がきたのかなと個人的には思っています。

### NGNレディーのソリューションでオープンイノベーションを加速

■■■本格的なユビキタス社会の到来に向けた貴社の役割・取組みをお聞かせください。

**広崎** 国際標準機関 (ITU等) や通信事業者の示すNGNの概念にとどまらないIT・ネットワークの融合ソリューションを、企業、個人、社会へ提供することが私どもの役割だと考えています。お客様の役に立つ情報サービスプラットフォームの構築、さらにはその上の、例えばリアルタイムSCMや電子決済、個客マーケティング、映像配信、電子行政といったソリューションを提供して

いきます。こういったソリューションセットを支える技術をしっかりと開発し続け、イノベーションを加速し続けることが重要だと考えています。

■■■具体的にどのような事業を展開しているのですか。

**広崎** NECのNGN関連ビジネスの全体像を図2に示します。NGNでは、サービス機能を組み合わせたアプリケーションを自由に開発することが可能ですが、いろんな方々の知恵、コラボレーションによりアプリケーションを創出することが重要です。私どもでは現在、アプリケーションへの取組みとして、SIP技術の詳細を隠蔽することによってNGNアプリケーションの開発を容易にするためのNGNミドルウェア共通API策定、及びNGNの普及拡大の促進を行う「NGNミドルウェアパートナープログラム」を設立し、NGNアプリケーション創出を促進する活動を行います。ミドルウェア領域では、バッチ処理の低コスト性とオンラインリアルタイム処理の即時性の融合を図ったPSA (パラレルストリームアーキテクチャ) と呼ばれる新たな処理方式を開発し、サービス実行基盤 (Web OTX)、情報管理ソフトウェア (InfoFrame) として提供しています。

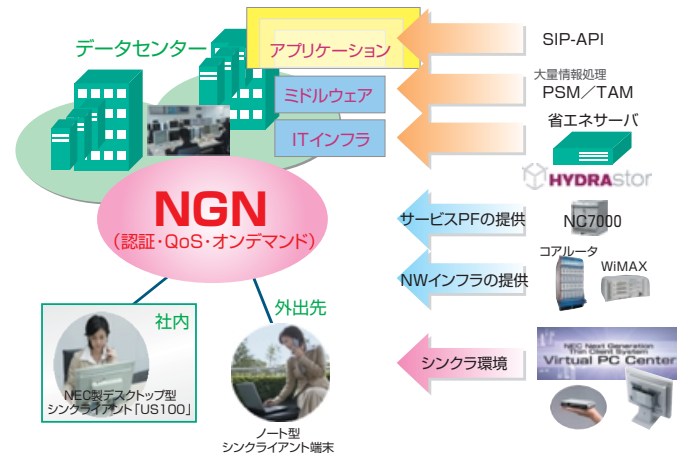


図2 NECのNGN関連ビジネスの全体像

また、ITインフラ領域では、オンデマンド、サービス無停止、ローコスト運用、エコ対策といったデータセンターに必要な要件を満たすストレージ (iStorage) や運用管理ミドルウェア (WebSAM)、省電力・省スペースサーバ (コードネームECO CENTER) などを提供していきます。さらに、NGNインフラ構築事業を通じてお客様への新たなサービス創出に貢献しているほか、いつでもどこでもリアルタイムでの情報連携を実現するセキュアなシンクライアントソリューションも提供しています。

NGNは、ネットワークを活用した画期的なサービスの自由な開発と利用を加速します。4年前、UC Berkeleyのヘンリー・チェスブロー (Henry Chesbrough) 教授は「オープンイノベーション」を提唱しました。NECは、コラボレーションによるオープンイノベーションを今後も積極的に支援します。

■■■本日は有難うございました。

(聞き手・構成：編集長 河西義人)